

# 会員のひろば

題字：伊田 志保

◇「一見して、「見据える」と身のまわりに新しいものが育っている。冬に春が準備されているように」と思いました。

スタッフのみなさんの軽やかなフットワークが眼にうかびます。  
(安中市・萩原 慧)

◇従来の中身より今回の方がいろいろと文章が書いてあり私も、二〇一三年三月十一日に地震があり原子炉がメルトダウンしたのに再稼働という話は、人間を物扱いしていると思い非常にバカにしていると思います。

中国の国は何を考えている国なのか、戦争をしたくてしたくているように見えますので、日本にいる中国の人に、中国の政府は日本と中国は仲良くして行くように訴えてもらいたいと思います。

学校のいじめ問題やスポーツの体罰などが現在出ていますが、本当に根本から直す為に、日本の学校を(全体)調べて行く必要があると思いますが、いかがですか？

(富岡市・藤井 幸一)

◇「すなっぷ」『留学生』たちの『座談会』とくに「ズバリ：最近の日中関係について、どう思いますか」に対する6つの回答がとても興味深かった。小生は「TVニュース」の反日デモ、さらに日系商社の破壊と略奪にいささか感情的になりました。深く反省しています。以来「TVニュース」も一切見なくなりました。情報は、もっぱら新聞二紙から得ています。それで十分です。

(東京都・胡口 靖夫)

◇「はじめまして」の「尾瀬をいとしむ会」すてきですね。共感！ご発展を！！

でも、「いとしむ」という日本語はないのでは？民謡・童謡を愛する方々は、日本語の美しさを大切にする第一人者でもあろうと推察します。「いとしむ」ならスナリ納得ですが。「いとしむ」ということばを会の名にした由来をきかせていただければうれしいです。

(前橋市・富山 弘毅)

◇運営委員会の皆さまの「育ちと学び」に対する熱意の表われの記事が多く、感銘を受けました。特に今回の「すなっぷ」は、私たちのこんな身近に「NIPPON語学院」があることは知りませんでした。連日のように中国との緊張関係が報じられる中、アジアの一人としての日本のあり方を示そうとする編集運営委員「希」を感じました。

また、全編に見られる似顔絵やカットは、そのコメントと共に記事に暖かみをそえませてくれます。

「いじめ問題」は、小・中・高からオリンピック選手にまでおよんでいる忌ましい問題である。根底にあるのは、「成果主義」「競争主義」の横行、その制度化にあると思われる。「学力向上」の名のもと、また「つめこみ主義」が復活している。

このような現状の中、「成果主義」「競争主義」に過度に走らない事例を紹介していただければと思います。

(高崎市・H.S.)



野尻文子さんの絵手紙作品

(順不同／敬称略)  
\*イラスト、詩や短歌などの作品も  
お待ちしております。